

回想法の夕べ・8月号

平成24年7月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

猛暑が続きます

意思の尊重が大事

じっとしていても汗ばむような猛暑が続いています。いかがお過ごしですか？

歳を重ね、体も頭も思うように動かなくなっても、心地よいことはどんなことでしょうか。障害者になっても、認知症になっても、自分の意思が尊重され自分のことを自由に決められることは、心地よく、生きてゆくうえで大事なことでないでしょうか。



新聞のコラムに「国は6月に、認知症の初期から本人の生活を集中的に支援する新施策を発表しました。日本がお手本にした英国は、国を挙げて認知症施策に取り組む前に、本人の意思を尊重するための法律を作りました。同じ施策でも、基本原則が違えば結果も大きく変わります。日本の新施策がうまくいくかどうかは「本人の意思の原則」がどの程度徹底されるかにかかっているのです」と結んでありました。

施設や病院では、職員の目線で「問題行動あり」と、ひと括りにされてしまいます。本人に寄り添い、気持ちを汲み取るとなど、本人の側に立って対応していただけたら、問題行動も緩和することが出来るのではないのでしょうか。そんな新施策になってくれることを願っています。

夏祭りの思い出はどんな事

祭囃子が聞こえてくると子どものころの思い出がなぜかよみがえってきます。

仕事から帰った父親に連れられ「カーバイト」の気持ち悪くなるような強烈なおいの中で綿菓子を食べたり金魚すくいをしたことなど、母が仕立ててくれた浴衣を着て楽しんでいた当時の自分に若返ります。不思議なことに。



中でも、懐かしく思い出されることは、父がお神楽が大好きで、私は、父の肩車に乗せられ何時間でも見せられたことです。父は、踊り手の技量やストーリーを話してくれるのですが、幼い私にはチンプンカンプンで退屈で仕方がなかったことを。眠たくなっても父の肩車の上でじっと我慢するしかなかったことを懐かしく去年のことに鮮明に蘇って来ます。

今なら、興味を持って父の説明を聞けてと思うのですが、聞きたい時には父はいません。天国から、こんな娘をどんな笑顔で見ているのか想像の世界で遊んでいます。

お祭りは、幾つになっても楽しいイベントの一つのようです。

8月の予定

回想ガイド活動は、3日(金)、7日(火)、21日(火)
昔の遊び体験教室は、25日(土)、稲刈りを予定しています
開催場所は、歴史民俗資料館
開催時間は、13時30分～15時30分です